

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成22年10月7日(木) 5校時

児 童 男4名 女8名 計12名

指導者 若松 優子

1 単元名 『くらべてよもう』

2 教材名 「じどう車くらべ」

3 単元について

(1) 指導事項について

本単元の主たる指導事項は、「時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」である。

この力を育てていくためには、「説明の順序に気付きながら読むこと」「語や文のまとまりを考えながら声に出して読むこと」「挿絵と叙述、事柄と事柄を比べながら内容の大体を読むこと」などの力を育てていく必要がある。

本単元では、「いろいろな自動車について、仕事とつくりの2つの事柄の順序を考えながら読み、内容の大体を読むこと」ことを目標とする。

(2) 児童の実態について

児童はこれまで、「いろいろなくちばし」で、絵や写真を手がかりにくちばしの特徴や役割を読み取ることや、説明文の基本的なパターンである「問い」と「答え」の文型を学習してきた。また、興味を持った鳥について図鑑で調べ、基本文型をまねて紹介カードを書く活動もしてきた。

本単元に関わる児童の実態をみると、学び合いの中では、自分なりの表現で考えを話そうとする意識が高い。しかし、友達の話聞いて、感想を話したり自分の考えと比べたりすることは十分にできていない。読み取りに関しては、絵や写真を手がかりに読み取った事柄を叙述で確かめる段階になると、正しい文を選べない児童が数名いる。また、自分の調べたことを文章に表すことは、説明文の叙述を確かめながら繰り返し指導していく必要がある。

(3) 教材について

教材文「じどう車くらべ」は、子どもたちのよく知っている自動車を題材にし、自動車について同じ文型が繰り返されることで、「しごと」と「つくり」の因果関係に気付き、子どもたちが新しいものの見方を身に付けて読み進めていくことができる説明文である。

本教材では、第1段落で「話題・問題提起」、第2～4段落で「バス・乗用車・トラック・クレーン車の仕事とつくりの説明」、第5段落でこれまでの読み取りをもとに、はしご車について説明的な表現をすることを発展として取り上げている。それぞれの自動車の説明について内容の大体を読み取ることで、繰り返し出てくる接続語や文末表現に着目させながら、説明文の構成や文型に慣れさせることができ

る。また、図鑑作りを通して、教材文を参考にしながら、自分の好きな自動車の「しごと」と「つくり」についての簡単な説明文を書くことができる。

以上のことから、本教材は、自動車の特徴を分かりやすく説明する順序に気付き、それぞれの自動車の特徴を比べながら読み取るのに適した教材であると考ええる。

(4) 指導にあたって

指導にあたっては、次のように進めていく。

- ①「つかむ段階」では、児童が主体的に学習に取り組めるように、知っている車の話をしたり、クイズ形式で自動車の名前を当てる活動を取り入れたりする。さらに、本単元で学習したことを生かして「じどう車ずかん」を作ることを知らせ、目的意識を持って読み進めることができるようにしたい。そのために、自動車の「しごと」と「つくり」が分かる本や図鑑を準備し、並行読書ができるようにしたい。
- ②「読み深める段階」では、自動車の仕事とつくりの色分けしたサイドラインを引くことにより、説明文の構成や文型に慣れるようにしたい。叙述を挿絵と結びつけたり、動作化したりすることにより、事柄をはっきりイメージできるようにしたい。前の時間までに学習した乗用車、バス、トラックの役割演技をしながら「しごと」と「つくり」を質問することにより、それぞれの車の特徴の違いが分かるようにしたい。
- ③「ひろげる段階」では、本や図鑑を見たり読んだりしながら、自分の書きたい自動車図鑑を作る。そのさい自分の必要な情報が得られるように「しごとカード」、「つくりカード」を使い情報を集め、その中から必要な情報を選択し図鑑作りができるようにしたい。図鑑作りでは、はじめに「しごと」、次に「つくり」というように教材文と同じ順序で書くようにする。

4 単元の目標

〈国語への関心・意欲・態度〉

- ・自動車の仕事やつくりについて興味をもち、いろいろな自動車を比べようとする。
- ・自動車図鑑を作るために、乗り物の本に興味を持ち、読もうとする。

〈読む能力〉

- ・3種類の自動車について、仕事とつくりの関係を考えながら内容の大体を読むことができる。(読イ)

〈言語についての知識・理解〉

- ・片仮名で書く語を読み書く。(言ウ(ア))

5 指導計画と評価規準(10時間)

過程	時間	学習内容	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
----	----	------	------------------	------	---------------------

つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> 知っている車の話をしたり、自動車当てクイズをしたりする 自分の「じどう車ずかん」を作ることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 知っている車について発表し、クイズに答えようとしている。 		
	1	<ul style="list-style-type: none"> 全文を音読し、3種類の自動車が書かれている順序をとらえる。 		<ul style="list-style-type: none"> 語のまとまりや、速さに気をつけて音読をする。 3種類の自動車が書かれている順序を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 進んで、漢字や片仮名を書いている。
読み深める	1	<ul style="list-style-type: none"> 自動車の「しごと」と「つくり」の関係を比べながら読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> 「しごと」や「つくり」の文末表現に着目して、話題・問題提起であることを読み取っている。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> バスやじょうようしゃの「しごと」と「つくり」を比べながら読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」を比べながら読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「問い」の文「問いに対する説明」の文という説明的文章の構成を理解する。
	1	<ul style="list-style-type: none"> トラックの「しごと」と「つくり」をバスと比べながら読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> トラックの「しごと」と「つくり」をバスと比べながら読み取っている。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> クレーン車の「しごと」と「つくり」をトラックと比べながら読み取る。 		<ul style="list-style-type: none"> クレーン車の「しごと」と「つくり」をトラックと比べながら読み取っている。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵から、はしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて、クレーン車などと比べながら説明文を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 挿絵からはしご車の「しごと」と「つくり」を見つけて発表しようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> はしご車の「しごと」と「つくり」について「そのために」という言葉を使い、説明文を書いている。

ひ ろ げ る	1	・「じどう車ずかん」を作るためのカード作りをする。	・自分が書きたい自動車を選び、進んでカードに書くとする。	・自分の好きな自動車について、本や図鑑から「しごと」と「つくり」を読み取っている。	
	1	・「じどう車ずかん」を作る。			・自分が書いたカードから必要な情報を選び説明文に書く。
	1	・「じどう車ずかん」を発表する。 ・「じどう車ずかん」作りについて振り返る。	・友だちが作った図鑑をみて良いところを発表しようとする。	・友だちが紹介する車の「しごと」と「つくり」を読み取っている。	

6 本時の指導

(1) ねらい

クレーン車の「しごと」と「つくり」をトラックと比べながら読み取る。

(2) 授業仮説

クレーン車の「しごと」と「つくり」に色別のサイドラインを引いたり、ペープサートを使ってお互いに質問したりするならば、他の自動車と比べながら仕事とつくりの関係を理解することができるであろう。

(3) 展開

段階	学習内容及び活動	・指導上の留意点 ◎・・・主発問 ○・・・補助発問	評価（評価方法） ◎具体的評価規準
つかむ 5分	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">クレーン車の「しごと」と「つくり」をしらべよう。</div>	・前時のトラックの「しごと」と「つくり」を振り返る。 ・「しごと」と「つくり」という観点で読み取っていくことを確認する。	

35	<p>3 学習場面を音読する</p> <p>4 課題を解決する。</p> <p>(1) クレーン車の「しごと」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイドラインを引く (赤) ・ワークシートに書く ・「しごと」について話し合う <p>(2) クレーン車の「つくり」を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読をする ・サイドラインを引く (青) ・「つくり」について話し合う ・ワークシートに書く <p>5 学び合いをする。</p> <p>(1) ペアを組みクレーン車の「しごと」と「つくり」を質問しあう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手がかりになる言葉、「しごと」「そのために」に気をつけて読む。 ・一斉読をする。 ・指名読みをする。 ・口をはっきり開けて、速さに気をつけるようにする。 <p>○クレーン車の「しごと」は何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おもいもの」「つりあげる」という言葉を挿絵や経験をもとに話したり、動作化したりする。 ・トラックの「しごと」と比べながら、「つくり」に着目させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・「つくり」を読み取るための音読をする。 ・一斉読をする。 <p>○クレーン車はどんな「つくり」になっていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「うで」と「あし」の場所について話し合う。 ・挿絵と文を照応させ、線をひかせる。クレーン車の「つくり」を挿絵により理解させる。 <p>○どうしてこのような「つくり」になっているのですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアでクレーン車の「しごと」と「つくり」を質問し合うことで、読み取りを確かにさせる。 ・ペープサートを使い、役になりきる。 ・話形を示す。 ・どうしてこのような「つくり」になっているか必ず質問をするようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文から「しごと」を見つけている。(サイドライン) ・文から「つくり」を見つけている。(サイドライン)
----	---	--	--

	<p>(2)トラックと比べながら話し合う。</p> <p>6 本時の学習をまとめる。</p>	<p>◎先生（トラック車）とちがうところはどこですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任が「トラック」役になり、質問をする。トラックの「しごと」と「つくり」を比べながら、自分（クレーン車）のことを話せるようにする。 ・話し合いをして分かったことを発表する。 	<p>◎クレーン車の「しごと」と「つくり」をトラックと比べながら話している。</p> <p>（観）</p>
--	--	--	---

＜本時の指導構想＞

第1学年 単元名『くらべてよもう』

教材名「じどう車くらべ」

1 本時の学び合いの構想

自分の思いや考えをまとめ発表し合う。

2 具体的な手立て

- ① 「しごと」に赤、「つくり」に青でサイドラインを引く。
- ② ペアで役割演技をしながら、質問をし合う。
- ③ トラックの「しごと」と「つくり」を比べながら違いを話し合う。

3 学び合いの展開

- T : 質問する役とクレーン車の役に分かれて、どんな「しごと」をしているのか、どんな「つくり」になっているのか質問をしましょう。
- C1 : クレーン車さんは、どんな仕事をしていますか？
- C2 : 私の仕事は、重い物をつり上げる仕事です。
- C1 : どんなつくりになっていますか？
- C2 : じょうぶな腕が伸びたり、動いたりします。しっかりした足もついています。
- T : どうして、そんなつくりになっているのか質問してみてください。
- C1 : クレーン車さんは、どうしてじょうぶな腕があるのですか？
- C2 : 工事する所で、重い物をつり上げるからです。
- C1 : どうしてしっかりした足が付いているんですか？
- C2 : 重い物をつり上げた時に、ぐらぐらしないようにです。
- T : 先生がトラックの役になります。質問してもいいですか？
私の（トラック）「しごと」や「つくり」がわかりますか？
- C3 : 荷物を運ぶ仕事をしています。荷物を入れる広い荷台があります。重い荷物を運ぶのでタイヤがたくさんあります。
- T◎ : 先生（トラック車）と違う所はどこですか、比べてお話ししましょう。
- C4 : トラックは、タイヤがたくさんついています、私は足がついています。
- C5 : ぼくは、じょうぶな腕がついていますが、トラックにはありません。
- T : いいなあ。ぼく（トラック）にも、じょうぶな腕をつけようかな？
- C6 : 荷物がはいらなからじゃまず。
- C5 : 荷物を運ぶ仕事なのでいいですね。
- T : では、しっかりした足があるといいよね。ぼくもつけようかな？
- C3 : 重い荷物を運ぶけど、足はいらないうです。
- C5 : トラックとクレーン車は、仕事が違うのでいいですね。



＜ねらい＞ クレーン車の「しごと」と「つくり」について、トラックとくらべながら読み取ることができる。